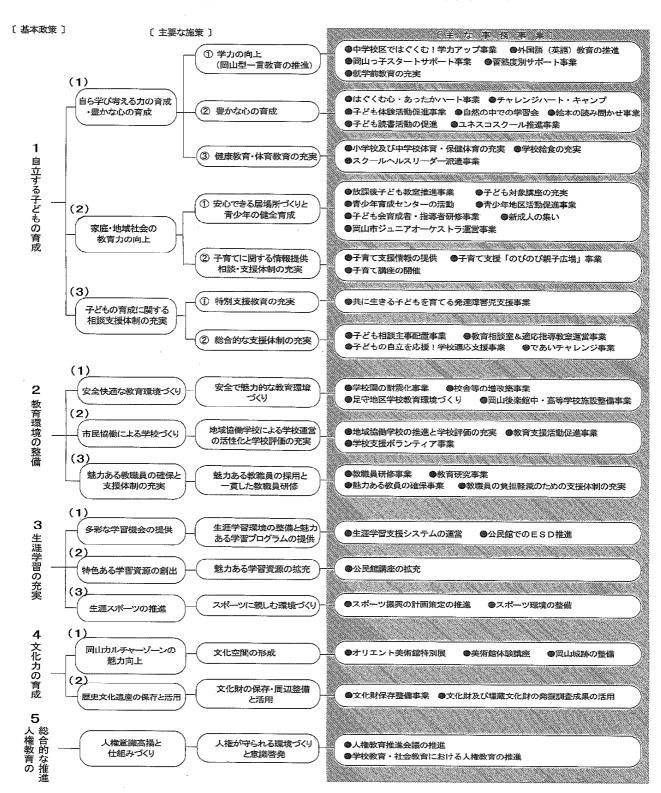
Ⅲ 平成23年度岡山市教育委員会の主要な事業

岡山市教育委員会の主要な事業は、岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例(愛称:岡山っ子育成条例)を基盤に岡山市都市ビジョン(新・岡山市総合計画)を踏まえ、教育行政のより一層の充実を図るために、単年度ごとに見直し、策定しています。基本政策を実現するため、重点的に進める施策と事務事業を設定し、体系的にまとめています。なお、基本政策は、①自立する子どもの育成、②教育環境の整備、③生涯学習の充実、④文化力の育成、⑤人権教育の総合的な推進の5点です。

岡山市教育委員会における基本政策、主要な施策、主な事務事業の体系



1 自立する子どもの育成

- (1) 自ら学び考える力の育成・豊かな心の育成
 - ① 学力の向上(岡山型ー貫教育の推進)

【中学校区ではぐくむ!学力アップ事業】

教育委員会と大学とが連携し、「読解力」「表現力」「学ぶ意欲」などの課題解決に向けて幼児教育から中等教育までの学びを連続させる一貫教育の推進体制を中学校区単位で強化する。

- ・大学教授等が参加する幼小合同、小中合同教科別研究会の実施
- ・大学教授等との連携による中学校区毎の状況分析と取組の検証
- ・保幼小中の接続を強化する指導資料等の作成と配付
- ・一貫教育に関する保護者向けパンフレットの作成

【外国語(英語)教育の推進】

学校園において、国際感覚を身に付け、英語を使って積極的にコミュニケーションをとろうとする子どもを育成できるよう、小学校の外国語活動や中学校の外国語教育の充実を図るとともに魅力ある授業づくりを推進する。

- ・中学校区を基本として外国語指導助手を小学校や幼稚園に派遣し、 外国語活動や国際理解教育に役立てる
- ・特色ある教育実践校での成果を活用し、小学校・中学校間の連携の 在り方や学習内容の連続性についての調査・研究を進める
- ・小学校教員を対象に外国語活動研修講座を実施し、授業指導力や 英語運用能力の向上を図る

【岡山っ子スタートサポート事業】

小学校1年生のスムーズなスタートのために生活指導や学習指導の支援を行うサポーターを配置し、つまずきを早期に発見し対応することで、学校生活への適応力を高め学力向上の基盤づくりを支える。

- ・1クラス30人以上の学級に配置
- ・県事業(小1グッドスタート事業)に追加して6週間分配置

【習熟度別サポート事業】

小学校に習熟度別サポーターを配置し、学習のつまずきの生まれやすい2~4年生の習熟度別の授業(国語・算数)を行う中で、さらに10人以下の小さな集団によるきめ細かい指導を実施し、基礎・基本の確実な習得を図り、児童一人一人の学力向上をめざす。

【就学前教育の充実】

保育園児と幼稚園児が同じ就学前の子どもとして、小学校入学以後における生きる力の 基礎を等しく身に付けられるようにする。また、岡山型一貫教育の視点から、保育園・幼 稚園と小学校との円滑な接続が行えるよう指導の充実を図る。

- ・保幼合同研修会を開催し、指導方法や指導内容の研究協議を行う
- ・保幼連携推進園として3組を4年間指定
- ・岡山式カリキュラム(平成21年度版)の普及を図る

② 豊かな心の育成

【はぐくむ心・あったかハート事業】

心をはぐくむ豊富な教材や資料と出会う機会、社会的な課題への対処や人間関係について考える機会、様々な価値を実感を持って捉えるための体験的活動の機会を充実させることで岡山っ子の「豊かな心」の育成をめざす。

- ・資料集『あったかハート』の活用のための研修を実施
- 「あったかハート推進講師」の派遣と岡山市版のプログラム作成
- ・「あったかハート体験活動」の推進

【チャレンジハート・キャンプ事業】

長期の集団宿泊体験活動の中で子どもたちが普段できない様々な自然体験や冒険に挑戦するなど体験活動の機会を設け、たくましくしなやかな心を育てる。

- ・建部町B&G海洋センターから岡山市少年自然の家(日応寺)までの20kmウォークをはじめ6泊7日のキャンプの中で川や山の豊かな自然を活用し様々な体験活動を行う
- ・チャレンジハート講演会の実施
- ・チャレンジハート育成関連事業実態調査と情報提供
- ・チャレンジハートキャンプ報告展の開催

【子ども体験活動推進事業】

豊かな体験活動の機会をつくり、子どもたちの自主性や自立性を育むとともに地域子ども会の活性化を図る。また、体験活動の重要性を地域に広げていくために青少年団体や子育て関係団体のネットワーク化を進める。

・わくわく犬島探険隊&報告展 ・わくわく子どもまつり

【自然の中での学習会】

小学生を対象に、普段の学校とは違う環境の中で、ボランティア先生(小学校や大学の 教師)と共に体験活動を行うことで、学校の枠を超えての交流や自然の素晴らしさを体感 させる。

【絵本の読み聞かせ事業】

絵本の読み聞かせの楽しさと大切さを保護者に伝え、家庭で実践してもらうことにより、 子どもが自然に本にふれ、読書に親しむことができる機会をつくることを目指す。

- ・中央図書館、幸町図書館、灘崎図書館の3ヵ所で開催
- ・「子どもが本と出会うまっぷ・岡山」を配布し広報に努める

【子ども読書活動の促進】

子ども読書活動推進計画に基づき図書館が中心となり、社会全体で子どもの読書活動を 推進する環境をつくり、子どもたちが、読書を通じて自ら学び、自ら考えることができる 人間として成長できるようにすることを目指す。

- 児童書の充実と団体貸出の推進
- ・子ども向け行事を増やす (紙芝居や絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング)
- ・学校司書と連携を図り、地域イベントへの本の提供を行う

【ユネスコスクール推進事業】

「持続可能な社会の実現に向けた教育」(ESD)について、その推進拠点となるユネスコスクールへの各学校の加盟を支援し、加盟校の実践例を全校に提供することで、市内各校のESDの取組の充実・発展を図る。加盟にあたっては、環境教育や国際理解教育、人権教育などについて、小中連携を意識して取り組んでいる学校が加盟できるようにする。

<コネスコスクールへの加盟促進のための支援>

・大学と連携し、申請時の補助や実践計画策定のアドバイスを行う

<ESD推進研修会の開催>

・講師(大学教授等)による研修会や加盟校の実践発表会を行い、 情報共有を進め、取組の深化・充実を図る

③ 健康教育・体育教育の充実

【小学校及び中学校体育・保健体育の充実】

小学校・中学校各1校を体育・保健体育の研究推進校に指定し、2年間にわたり教科研究を推進する。2年目には研究発表会を開催することで、その成果を全市へ広げていき、 岡山市の体育・保健体育の充実・発展を図る。

<研究発表校>

小:岡山市立富山小学校 中:岡山市立妹尾中学校

【学校給食の充実】

学校給食を通して、児童生徒が生涯にわたり健康で充実した生活を送るための基礎を培い、食の自己管理ができ、健全な食生活を実践する力を身につけることができるようにする。安全管理・衛生管理の徹底、給食運営の見直し等により、安全でおいしい学校給食を提供する。

【スクールヘルスリーダー派遣事業】

経験の浅い養護教諭の1人配置校に、退職養護教諭を「スクールヘルスリーダー」として派遣し、メンタルヘルスなど多様化する現代的な健康課題への対応についての指導助言を行うなどの支援を行い、学校保健の充実を図る。

- ・派遣対象校:4校(1日4時間 月2回程度)
- ・連絡協議会の開催(3回)

(2) 家庭・地域社会の教育力の向上

① 安心できる居場所づくりと青少年の健全育成

【放課後子ども教室推進事業】

児童・生徒を対象として、平日の放課後や学校休業日に、学校施設等を活用した安全・ 安心な体験学習・交流活動・学習活動を主体とした「子どもの居場所」づくりを推進する。

【子ども対象講座の充実】

子どもを対象に、自然探訪・科学実験・文化体験などの活動の場を提供し、仲間づくりを支援する。特に夏休み期間には、異年齢の子どもや高齢者を含めた地域の大人とのふれあいを深め、健全な育成を図るため、住民ボランティアや中学生のほか、NPOなどの協力も得て、子ども向け講座を全ての公民館で開設する。

【青少年育成センターの活動】

青少年の保護育成を図るため、岡山市青少年育成協議会、警察、学校その他関係機関及び団体等と青少年育成センターとが連携するとともに、青少年育成委員の協力を得て、補導・相談、啓発・広報・研修活動等、青少年の非行防止、健全育成に必要な業務を総合的に行う。

・声かけ巡回補導活動の充実

【青少年地区活動促進事業】

青少年の健全育成に重点的に取り組む岡山市青少年育成協議会・各地区青少年育成協議会が行う補導、環境浄化、健全育成に係る地区活動を奨励・支援することで、青少年の健全な育成を図る。

【子ども会育成者・指導者研修事業】

地域子ども会の活性化を図るために、育成者・指導者の養成を行うとともに、地域での情報交換が進められるようネットワークを強化する。また、子ども会活動を活性化するための情報の発信や指導者の派遣を行う。

- ・子ども会育成会役員・球技指導者研修会
- ジュニアリーダー・インリーダー研修会
- ジュニアリーダーの子ども会への派遣

【新成人の集い】

新成人自身が新成人の集い(成人式)を企画・運営することを通じて、自らの行動に責任を負う社会の一員となった自覚を促す。併せて市民は今後の岡山市の発展の一翼を担う新成人に期待を込め、これまでの成長を祝福する。

【岡山市ジュニアオーケストラ運営事業】

音楽を通じて、情操豊かな青少年の育成と市民文化の向上を図るため、定期演奏会活動 や岡山市の代表としての岡山市内外の文化交流・国際親善活動を行う。

② 子育てに関する情報提供、相談・支援体制の充実

【子育て支援情報の提供】

各地域で活動している子育て支援団体・施設のサービスや、市民グループによる自主的な子育て支援活動に関する情報を、子育て中の保護者に広く提供するため、全ての公民館で「子育てミニ情報」を発行・配付し、保護者が身近な子育て情報を気軽に入手し、安心して子育てができるよう支援する。

【子育て支援「のびのび親子広場」事業】

幼稚園が子育て支援のセンター的役割を果たし、地域の子育て支援に寄与する。

- ・園が指定する日に、3歳までの未就園児と保護者を対象に体験保育を行う
- ・放課後の園庭・園舎の開放により、親子で安心して遊べる場を提供すると ともに、地域の児童委員の方などからの育児アドバイスなどを通して、地 域で子どもを支える体制づくりに取り組む
- ・保護者向けの子育て講座や子育て相談を実施する

【子育て講座の開催】

子育て中の保護者を対象に、子育てをテーマとする学びの場を公民館に設け、子育ての楽しさや悩みを共有できる仲間づくりを目指すとともに、父親の育児参加に繋がる講座の開設を進める。また、気軽に参加できる「子育てサロン」の設置や保育・託児ボランティアの育成を、公民館活動として推進する。

(3) 子どもの育成に関する相談支援体制の充実

① 特別支援教育の充実

【共に生きる子どもを育てる発達障害児支援事業】

特別支援教育の視点を取り入れた学級経営や授業法の実践研究及び一人一人の特性に応じた指導の在り方等についての研究を通して、教員の指導力向上と特別支援教育の充実を図る。また、発達障害に係る保護者や学校からの相談機能を強化し、ライフステージにあった切れ目のない支援体制へとつなぐことで、支援を必要とする子どもの自立をめざす。

- ・特別支援教育の視点を取り入れた授業づくりの研究校を指定
- ・「専門家支援チーム会議」(訪問相談)の開催
- 特別支援教育支援員の配置
- ・「就学支援シート」を活用した「個別指導計画」の在り方の研究

② 総合的な支援体制の充実

【子ども相談主事配置事業】

多様化する問題行動の解決に向けて、生徒指導上の課題解決に必要な専門性をもつ子ども相談主事が、学校園や保護者等の相談に応じるとともに、事例協議やケース会議の場で学校園内の支援体制や福祉等の関係機関との連携体制を構築していくための指導助言を行うことによって、学校園の問題解決力の向上を図る。

・相談主事13人を委嘱(保健福祉局と併任)

【教育相談室&適応指導教室運営事業】

岡山市教育相談室において、市内に在住する児童生徒や保護者、教職員等を対象に、学校や家庭等で抱えた教育上の課題(不登校や長期欠席、集団不適応等による悩みなど)に関する教育相談を行い、改善を図る。また、家庭に引きこもっている児童生徒に対し、訪問相談員を派遣し、学校復帰に向けた各種の支援を行う。

岡山市適応指導教室(中央適応指導教室・トラングル一宮・ラポート牧山の3施設)と連携し、さまざまな体験的な活動等を通して不登校児童生徒の自立に向けての支援を行い、学校復帰を目指す。さらに、子ども相談主事、こども総合相談所等との連携を一層進めることで円滑な入室と的確な支援を行う。

【子どもの自立を応援!学校適応支援事業】

問題行動や不登校等、学校不適応状態の児童生徒への早期対応や学校復帰の支援を教職員と連携して行うための要員を小中学校に配置することにより、子どもの自立を応援する協働体制を確立する。現在、中学校に配置しているスクールカウンセラーを小学校でも活用する。

- 不登校児童生徒支援員の配置
- スクールカウンセラーの配置

【であいチャレンジ事業】

不登校に悩む子どもたちとその保護者を対象に、少年自然の家や日応寺周辺の自然環境などを生かして、子どもたちに社会性を育む活動や、子ども同士、保護者同士がより多く関わることのできる活動を展開し、人間関係づくりを支援する。

•年間2回実施

2 教育環境の整備

(1) 安全快適な教育環境づくり

安全で魅力的な教育環境づくり

【学校園の耐震化事業】

安全・安心な学校園をつくり、教育環境の向上を図る。

- ・校園舎の耐震改修工事〈設計〉 小学校3棟、中学校4棟
- ・校園舎の耐震診断 56棟を実施

【校舎等の増改築事業】

児童・生徒数の増加に伴う教室不足を解消するため、校舎の増築を行うとともに、施設の老朽化及び狭小化に対応し、教育環境の充実を図る。

·岡山市立御南中学校校舎増築工事〈設計〉

【足守地区学校教育環境づくり】

足守地区の3小学校(大井・福谷・高田)を統合した蛍明小学校と足守中学校との一体的な整備を行うことで、適正規模化を図るとともに、岡山型一貫教育を推進する。

- 足守中学校既存校舎解体
- ・大井小学校の改修工事(足守中学校一時移転に伴うもの)
- ・小中一体型施設の実施設計

【岡山後楽館中・高等学校施設整備事業】

全国初の併設型の中高一貫教育校である岡山後楽館中学校・高等学校の施設整備を行う。 23年度中に校舎棟建設を完了し、平成24年4月から使用する。

(2) 市民協働による学校づくり

地域協働学校による学校運営の活性化と学校評価の充実

【地域協働学校の推進と学校評価の充実】

保護者や地域住民が学校運営に参画する地域協働学校を推進し、学校運営を活性化する とともに、家庭や地域社会の教育力向上を図る。

- ・各学校園に「運営協議会」を設置する
- ・運営協議会の協議題として学校評価を位置付け、自己評価の充実を図る
- ・中学校区単位で「連絡会」を開催する

【教育支援活動促進事業】

教育支援を行う地域の窓口づくりのために地域コーディネーターを配置する。学校・PTA・地域協働学校運営協議会などと相談、協力しながら、学校支援ボランティアや地域の協力者への活動依頼を調整する。このことにより学校とボランティアが協力しやすい関係を築き、活動の活性化を図り、地域で学校を支える体制を作っていく。

·本年度配置予定箇所数 10中学校区

【学校支援ボランティア事業】

岡山市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校での教育活動に、あらかじめ登録した保護者 や地域住民の様々な特技や趣味などを活かした支援活動を導入し、地域の教育力の学校教 育への活用を図る。

(3) 魅力ある教職員の確保と支援体制の充実

魅力ある教職員の採用と一貫した教職員研修

【教職員研修事業】

「我がまちで育てる 我がまちの先生」をコンセプトに、採用時から一貫したライフステージに合わせた教職員研修を実施し、情熱と力量豊かな魅力ある教職員としての資質能力及び指導力の向上を図る。

- ・若手教員の指導力アップを支援する
- ・教職員のニーズに応えるよう希望者研修を充実させる

【教育研究事業】

岡山市の教育課題や学校園のニーズに応えた実践的な調査研究を行うとともに、研究結果の普及、教育情報の提供等を通じて学校園内の研究支援や教職員の資質能力の向上を図る。

- ・学習指導法の研究と教材開発を進める
- ・他の教育機関との連携を促進する

【魅力ある教員の確保事業】

教員志望の大学生、大学院生等に対する働きかけを強化し、本市の将来の学校教育を担 う、情熱と力量豊かな魅力ある教員を確保する。

- ・教員養成課程を有する大学との連携を強化する
- ・県外(近隣の県庁所在地)の大学へ出向いての募集活動を実施する
- ・採用前研修の充実

【教職員の負担軽減のための支援体制の充実】

学校問題対応支援事業により、学校園で発生したトラブルに対する課題解決力(適切で 迅速に解決を図る力)を向上させ、教職員の負担軽減をめざす。

教育委員会からの送付文書等についての調査を行い、より効率的な文書のやりとりの方法について、検討と取組を進め、事務処理の負担軽減を図る。

- ・冊子「学校における問題の開発に向けて」の活用と内容の周知を図る
- ・各課横断のプロジェクトチームによる文書量の調査・検討

3 生涯学習の充実

(1) 多彩な学習機会の提供

生涯学習環境の整備と魅力ある学習プログラムの提供

【生涯学習支援システム(マナビネット岡山)の運営】

市民がインターネットを利用してパソコンや携帯電話などから、生涯学習に関する情報を受発信できる生涯学習支援システム「マナビネット岡山」の円滑な運用を図り、各種の生涯学習情報を提供するとともに、公共施設の空き状況の案内や、社会体育施設の予約・抽選受付を行い、市民の幅広い生涯学習活動を支援する。

【公民館でのESD推進】

公民館活動の成果を、地域活動への参加や生活課題の解決に活かすとともに、多様な考え方や文化の違いを認め合い、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指すため、環境問題・多文化共生・国際理解などESDの視点を踏まえた様々な講座や事業を地域住民や学校園とともに企画し、実施する。

(2) 特色ある学習資源の創出

魅力ある学習資源の拡充

【公民館講座の拡充】

市民生活に身近な生涯学習拠点として、住民ニーズや地域特性を踏まえた公民館講座を幅広く企画し、運営する。特に重点テーマとして取り組む7分野(共生のまちづくり、環境意識の高揚、健康づくり、男女共同参画の推進、子育て・青少年の健全育成、高齢者の学習促進、安全・安心ネットワーク活動との連携)については、地域の懸案や生活課題の解決に繋がる学習機会を全ての公民館で提供し、住民自らの地域づくりへの関心を高め、その取組を支援する。

(3) 生涯スポーツの推進

スポーツに親しむ環境づくり

【スポーツ振興の計画策定の推進】

国・県のスポーツ振興基本計画を参考にして、「岡山市スポーツ振興基本計画」(仮称) を策定する。計画の策定においては、「岡山市都市ビジョン」に沿って、子どもから高齢 者まで、全ての市民が生涯にわたってスポーツに親しみやすい環境の実現を目指す。

・パブリックコメントの実施、計画策定

【スポーツ環境の整備】

市民が生涯にわたってスポーツやレクレーションに親しみ、健康で生き生きとした生活を送ることができるように、各種の支援や環境の整備を行う。

- ・テニスコートや野球場といった社会体育施設については、指定管理者制度を 活用して、より効果的で効率的な維持・管理に努める
- ・市民屋内温水プールのエレベーター取替修繕をはじめ、利便性を高めるため の施設整備を行う
- ・ファジアーノ岡山の J リーグ公式戦に岡山市民デーを開催し、多彩なイベントを実施することでホームゲームを盛り上げる

4 文化力の育成

(1) 岡山カルチャーゾーンの魅力向上

文化空間の形成

【オリエント美術館特別展】 7月2日~8月31日

人類最古の文明であるオリエント地域に関する特別展を開催し、貴重な美術や歴史資料に直にふれることで、市民一人一人や家庭における文化意識の高揚に寄与するとともに、 近県各地からの参観者が見込まれることで岡山市のにぎわい創出にも寄与する。

・主な展示物 : オランダ・ライデン国立博物館所蔵 エジプトミイラ 2 体 ハヤブサ・トキ・ワニ・ネコのミイラとミイラ棺

【美術館体験講座】

オリエント美術館学芸員による講座や展示品の再現体験をするジュニアオリエント教室等等を実施し、我が国でも数少ないオリエント専門の美術館であるオリエント美術館に興味・関心をもってもらう。

- ・「ミイラをつくろう、ジュニアオリエント教室」の開催 (ミイラ展会期中の、7月19日に予定)
- ・「冬のジュニアオリエント教室」の開催(12月26日に予定)

【岡山城跡の整備】

岡山市の象徴的モニュメントであり、観光資源でもある岡山城跡の史跡としての適切な保存及び城郭としての歴史的環境整備や破損個所などの保存修理を実施し、史跡本来の景観の復元と活用を図り、岡山カルチャーゾーンの核の一つとして歴史を生かしたまちづくりを進める。

- 本丸本段の石垣修理
- ・本丸下段発掘調査(遺構確認と展示)

(2) 歴史文化遺産の保存と活用

文化財の保存・周辺整備と活用

【文化財保存整備事業】

岡山市は古代吉備地域の中心に相当することから市内に数多くの貴重な文化財が存在している。それらの文化財を恒久的に保存し、確実に後世に伝えていく。

- 史跡千足古墳保存整備事業
- 史跡大廻小廻山城跡整備事業
- 史跡彦崎貝塚整備事業
- · 重要遺跡 (湊茶臼山古墳等) 保存活用事業

【文化財及び埋蔵文化財の発掘調査成果の活用】

発掘調査現地説明会、発掘調査速報展、埋蔵文化財センターでの展示などを通して、文化財及び埋蔵文化財に親しむ機会をつくり、保護意識普及のための啓発を図る。

5 人権教育の総合的な推進

〇 人権意識高揚と仕組みづくり

人権が守られる環境づくりと意識啓発

【人権教育推進会議の推進】

各個別の人権課題を担当する教育委員会内各課を対象に企画及び施策の総合調整を図る機能を持つ「岡山市人権教育推進会議」を設置し、人権教育行政を総合的かつ効果的に推進する。

- 関係各課長を委員とする人権教育推進会議の開催
- ・人権教育推進会議幹事会を開催し、定期的な研修と施策の策定及び推進を図る。

【学校教育・社会教育における人権教育の推進】

学校教育と社会教育の様々な機会を通じた人権教育の充実と相互の連携を図り、生涯学習の視点に立って人権教育を総合的に推進する。

<学校教育>

- ・学校園における課題把握と体制づくりへの助言・支援
- ・研究校指定による研究・実践の充実
- ・外部講師を活用した教育・研修への支援と教材や研修資料の整備

<社会教育>

- ・PTA研修や市民啓発事業の実施
- ・各種社会教育団体研修への講師派遣
- ・外部講師を活用した研修への支援と研修資料の整備